

第1回 滋賀の縁創造実践センター
ひたすらなるつながりフォーラム

令和元年

10/9
(水)

「おめでとう」から「ありがとう」まで
えにし
縁架け橋プロジェクト

人口減少、少子高齢化、格差拡大、生きづらさを抱える人や世帯の孤立——だれもが「おめでとう」と誕生を祝福され「ありがとう」と看取られる滋賀ならではの共生社会を、だれとどのようにつくっていくのか。第1回ひたすらなるつながりフォーラムは、新たな滋賀の縁創造実践センターが「ひたすらなるつながり」の社会実現のため創設した「縁架け橋プロジェクト」のコンセプトと実践を、関心と共感を持ってくださる方がたと共有し、共働の一步につなげたいとの思いから開催します。

日時 令和元年10月9日(水)

14:00~17:00 フォーラム

17:10~19:00 交流会

会場 ピアザ淡海 大会議室・研修室
(大津市におの浜1丁目1-20)

PROGRAM

聴く



14:00~15:35

三日月大造滋賀県知事に聞く！

「仮）滋賀ならではの共生社会」

聞き手：上野谷加代子さん

対談

「おめでとう」から「ありがとう」まで

～縁架け橋プロジェクト

湯浅誠さん × 渡邊光春

(社会活動家/東京大学特任教授)

(本会会長)

進行：上野谷加代子さん

話す



15:40~16:00

リレートーク

今現在活動されている実践者から、現場からの課題提起や共働を呼びかけたい内容について発表いただきます。

つながる



16:15~17:00

テーマ別名刺交換会

参加された皆様それぞれが関心を寄せるテーマごとにテーブルを囲み、現場での実感や今後やってみたいことについて意見交換を行います。

もっと
つながる



17:10~19:00

交流会

参加費 5,000円

名刺交換会 ★テーマ★

- ①子ども食堂のこれからを考える
- ②高齢者施設を活用した子どもの居場所
「フリースペース」を深掘り
- ③高齢者施設を活用した中高年障害者の居場所づくりを
プランニング
- ④ひきこもり者・家族への訪問型・伴走型支援のしくみを考える
- ⑤医療的ケアを必要とする重度障害児の生活支援
～求められていること、できること
- ⑥重度障害者の生活支援～家族支援を考える
- ⑦児童養護施設を退所した若者の支援
～求められていること、できること
- ⑧働きづらさを抱える人の働く場のつくり方を考える
- ⑨住まいの確保が難しい人への支援を考える
- ⑩在宅介護者(ケアラー)へのケア
～求められていること、できること
- ⑪介護現場を支えるテクノロジー～AI&ICTのことを深掘り
- ⑫「滋賀の福祉人」定着支援のアイデア出し合おう

主催：滋賀県・滋賀の縁創造実践センター